

ガーナでそろばんプロジェクト 120 号(2025 年 2 月 28 日)

★★ 得意なものは強みであって、強みは自信につながる ★★

早いもので二月に入ります。二月と三月は日本では卒業式シーズンです。ここガーナで現在、そろばん指導している日本人の生徒さんは一人ですが、数年前まで国語算数そろばんと三教科教えを行っていた生徒Sさんが土曜日に開校しているアクラ日本語補習授業校の小学部を卒業するにあたり、お母様より祝辞を依頼されました。教えに行っていた当時思つたことは、とても丁寧な字を書き、本を読むのが大好きで机の上には、読みかけの本がいつも置いてありました、何よりもそろばんを好きになってくれ、将来そろばんの先生になりたいと私には言わば、お母様に話してくれたのが嬉しかったです。ところがSさんのお宅へは都合が合わずして行かなくなってしまった、そろばんの指導は中途半端に終わってしまった。日本人会のよさこい祭りでは元気な姿のSさんを見かけるも、指導を行ぐのを途中で辞めてしまつた事に罪悪感を感じていました。そうした中、去年お母様よりSさんが一時帰国中に通つていた学校でのさんが書いた俳句が受賞した事を知らされました。この知らせをたいへんうれしく思いました。その後、Sさんはたくさん本を読み様々な出来事を、自分の言葉で綴る素晴らしい力を持っていました。

Sさんにとって文を綴る力は強みなのです。Sさん自身が気づかない素晴らしい強みなのです。自信を持っていけるものなのです。そうした事を祝辞に書きました。そろばんの先生になりたいという夢を叶えて欲しいなという想いは正直ほんの少しありますが、Sさんにとっての強みは感受性を活かした素晴らしい文を綴る事だと思えるのです。そうした“得意なものは強みであつて、強みは自信につながる”と自分自身が文にして改めて感じていた時に同じ思いをXに書いているそろばん教室の先生がいらっしゃいました。“子供の意欲を引き出す、子供の自立自走を常に考える伴走者”として

シーズンです。ここガーナで現在、そろばん指導している日本人の生徒さんは一人ですが、数年前まで国語算数そろばんと三教科教えを行っていた生徒Sさんが土曜日に開校しているアクラ日本語補習授業校の小学部を卒業するにあたり、お母様より祝辞を依頼されました。教えに行っていた当時思つたことは、とても丁寧な字を書き、本を読むのが大好きで机の上には、読みかけの本がいつも置いてありました、何よりもそろばんを好きになつてくれ、将来そろばんの先生になりたいと私には言わば、お母様に話してくれたのが嬉しかったです。ところがSさんのお宅へは都合が合わずして行かなくなってしまった、そろばんの指導は中途半端に終わつてしまつた。日本人会のよさこい祭りでは元気な姿のSさんを見かけるも、指導を行ぐのを途中で辞めてしまつた事に罪悪感を感じていました。そうした中、去年お母様よりSさんが一時帰国中に通つていた学校でのさんが書いた俳句が受賞した事を知らされました。この知らせをたいへんうれしく思いました。その後、Sさんはたくさん本を読み様々な出来事を、自分の言葉で綴る素晴らしい力を持っていました。

Sさんにとって文を綴る力は強みなのです。Sさん自身が気づかない素晴らしい強みなのです。自信を持っていけるものなのです。そうした事を祝辞に書きました。そろばんの先生になりたいという夢を叶えて欲しいなという想いは正直ほんの少しありますが、Sさんにとっての強みは感受性を活かした素晴らしい文を綴る事だと思えるのです。そうした“得意なものは強みであつて、強みは自信につながる”と自分自身が文にして改めて感じていた時に同じ思いをXに書いているそろばん教室の先生がいらっしゃいました。“子供の意欲を引き出す、子供の自立自走を常に考える伴走者”として

知られる牧野先生が投稿していた内容に深く共感できたのです。私も同じ得意と思えるものを作らせ自信を持たせることの大切さは常に思つてゐる事です。今現在大学に通つてゐるかつてそろばん教室に来ていた“ティピット、クレナム、そしてフランス”にいるプリンシラもそろばんを通して計算が得意になり自信が持つたせん大事な仕事を担つてゐるのだと振り返ることが出来た祝辞と牧野先生の投稿でした。さて、今月の村での授業は2か月ぶりとなり、繰り上がり繰り下りの“おさりい”となりました。五から貰つて繰り上がる、引けない時は左から一貰いお釣りを置く、繰り返し繰り返しの授業です。この積み重ねが分かる喜びとなり、得意なものになり自信につながることを少しけじやつてこくのみです。

報告 TOSHIKO



14:18

← ポスト

TOSHIKOKOKUBU @toshikokokubu

得意なものは強みであつて、強みは自信に繋がる!!

ばんそうしゃ@子どもの自立自走を... 3日
我が子には「これが得意！」と思えるものを一つでいいので作つてあげましょ。たとえ何かチャレンジに失敗しても、得意なものが一つさえあれば「自分には○○があるから大丈夫！」と前向きに自信を持って再びチャレンジで...

2025年02月26日 17:31 · 426 表示

山 ポストアクティビティを表示

3 リポスト 7 いいね

最も関連性の高い返信

ばんそうしゃ@子どもの自立自走を... 2日
返信先: @toshikokokubuさん
こんにちは！ありがとうございます😊
子どもたちに自信をつけて欲しいですね。

返信をポスト

協賛

子どもの学びにサポートに心より感謝いたします

トモエそろばん様